

エピソード収集型ミュージカル創作事業

CONCEPT MUSICAL

THE GALLERY

開 催 報 告 書

(WEB 公開版)

とき：2026.1.13-18

ところ：山梨県立大学 (13-15)・能成寺 (16-18)

CONCEPT MUSICAL
THE GALLERY

【Special Thanks】

エピソードをお寄せいただいた皆様に
この場をお借りして厚く御礼申し上げます

THE GALLERY を終えて

創作を、ミュージカルを、
作家の手から生み出さない方法はあるか？

僕の中に生まれたこの問い合わせこのプロジェクトのスタートのひとつのきっかけでした。実話を収集してそれを上演テキストの原作とし、各曲のエピソードに関連性はなくとも、ソングサイクルという形式を利用してミュージカルに仕立てる。今この時代に生きている人たちの人生の断片が収蔵していくようなイメージで『THE GALLERY』という作品名を決めました。

投稿されたエピソードは実話です。
だからこそテキストを編み上げる僕らとしても
そのエピソードを、作品のためのただの素材として扱ってはいけないよねという意思確認から
翻案作業を始めました。その人の人生に起きた出来事の、そのきらめきと色彩と手触りをできるかぎりそのまま掬い取れるように、注意深く創作に向き合ったつもりです。

上演は僕たちの予想を超えて、感動的で、温かく、涙と笑いにあふれた稀有な時間となりました。実話が持っているエネルギーはすごいです。

今後このプロジェクトはさらなる展開を目指していきます。この作品を本当のギャラリーのように、いろいろな人がそれぞれの立場で利用でき、そのときどきで展示品の並べ方を変え、多くの人が集まる場に育てることが、次の大きな目標です。

山野靖博 (THE GALLERY 発起人)

photo by 割田光彦 (つづり舎)

開催概要



事業名称

エピソード収集型ミュージカル創作事業 concept musical THE GALLERY

事業概要

- ・山梨県甲府市出身の俳優・山野靖博が発起人となり、個々人のエピソードからソングサイクル・ミュージカルを創作するプロジェクト「THE GALLERY」を、アドブレーン・共立・NTTファシリティーズ共同事業体（YCC 県民文化ホール指定管理者）主催のアウトリーチ事業（おでかけミルケ）として実施。
- ・エピソードは一般から公募。
- ・創作はエピソードの読み合わせからテキスト制作、楽曲制作までクリエイターによる6日間の短期滞在型で行い、その全行程をワークショップとして公開。
- ・創作作品は最終日に公開発表を行う。

日程

2026年1月13日（火）－18日（日）

会場

1/13-15: 山梨県立大学 飯田キャンパス（甲府市飯田5-11-1）
1/16-18: 能成寺（甲府市東光寺町2153）

クリエイター

上演台本潤色・演出 | 中原和樹（VOICE OF JAPAN）
上演台本潤色・出演 | 山野靖博（VOICE OF JAPAN）
上演台本潤色・出演 | 水野貴以（プロダクション・エコー）
上演台本潤色・出演 | 杉浦奎介
作曲・演奏 | 伊藤駿（アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体）

主催

アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体（YCC 県民文化ホール指定管理者）

制作

THE GALLERY, アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体

後援

山梨県立大学（1/13-15）

協力

能成寺

事業案内（チラシ）

あなたのエピソードを小さなミュージカルに

エピソード収集型ミュージカル創作事業



[主催] アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体（YCC 県民文化ホール指定管理者）
[制作] THE GALLERY, アドブレーン・共立・NTT ファシリティーズ共同事業体
[後援] 山梨県立大学（1/13-15）[協力] 能成寺（1/16-18）

概要

●THE GALLERYは、広く公募したエピソードから、ソングサイクル・ミュージカルを創作するプロジェクトです。●創作はクリエイターによる短期・滞在形で行います。●創作プロセスを公開・共有することで、その過程を体感いただけます。●創作した作品や制作プロセスなどは記録・資料化し、広く活用いただけるように共有します。

ソングサイクル・ミュージカルとは

一般的なミュージカルは幕開きから終幕まで、筋を追える「お話」があります。でもソングサイクル・ミュージカルには「お話」がありません。筋の通った物語ではなく、ある一貫したテーマを持った「歌と音楽」が続いていく形式です。今回の「THE GALLERY」ではあなたがこれまでに体験した“不思議な出来事”や“印象的な出来事”的エピソードを募集します。「にわかには現実とは思えない」「小さなドラマチックな出来事」を投稿して、新しいソングサイクル・ミュージカルを一緒につくりませんか？

クリエイター



[上演台本総括・演出] 中原和樹
演出家・劇作家・アクティングコーチ。ミュージカルの翻訳・訳詞も行う。英語好き、不思議なもの好き。VOICE OF JAPAN 所属、YCC 県民文化ホールアーティスティック・アドバイザー

[上演台本潤色・出演] 山野靖博
俳優、歌手、文筆家。甲府市相生出身。音楽をこよなく愛し、山梨のワインもこよなく愛す。フクロウと暮らしている。VOICE OF JAPAN 所属、THE GALLERY 発起人。

[出演] 水野貴以



役者、声優。
朝はルーティンで忙しい。
プロダクション・エコー所属

[出演] 杉浦奎介

東京藝術大学卒業。
「レ・ミゼラブル」などに出演。

[作曲・演奏] 伊藤駿 | アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体

お問い合わせ
申込先

YCC 県民文化ホール
指定管理者: アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体

エピソード募集

皆様のエピソードをお寄せください。

[例えば]

- ・大好きなペットとの思い出
- ・もう会えなくなってしまった大切な人の印象的な出来事
- ・大事なモノとの出会いや別れのエピソード
- ・とっても可笑しい衝撃的な経験

※脚本化はクリエイターにて行いますので、どのような書き方（文章でも、イラストなどでも）でも大丈夫です。

延長しました

2025
募集期間
10/1 水から
2026
1/7 水まで

提出方法
「エピソード申込用紙」提出
あるいはWEB上のフォームにて▶

注意事項
エピソード提出にあたっては注意事項がございます。裏面をご確認ください。

創作・発表スケジュール

DAY:1-3

2026

1/13 国

1/14 国

1/15 国

1/16 金

1/17 国

1/18 回

山梨県立大学での
創作ワークショップ
解説を踏まながら
創作プロセスを共有

会場
山梨県立大学
飯田キャンパス
甲府市飯田5-11-1

時間
各日とも
13:00~21:00 予定

参加
事前申込制
お申込みは
公演案内 WEB
あるいは
お電話にて

DAY:4-6

甲府市・能成寺での
創作ワークショップ
および発表

会場
能成寺
甲府市東光寺町2153

時間
16日、17日は
13:00~18:00

参加
フリーアドレス
ふらっと
お立ち寄りください

発表公演
14:00 開演・入場無料

エピソードの読み込み・ディスカッショントーク
（合本）を創る
「音楽」を創る
「表現」を創る

駐車場には
限りがあります。
(15台ほど)
できる限り
公共交通機関でお越しください

内容の詳細については、随時公演案内
WEBページにてお知らせいたします。
ご不明点は下記までお問合せ下さい。

〒400-0033 山梨県甲府市寿町26-1
TEL.]055-228-9131 [FAX.]055-228-9137
[E-Mail]jigyo@yamanashi-kbh.jp

報 告 概 要

- エピソード公募** 山梨県内外の13名より、18件エピソードが投稿されました。
- 創作ワークショップ** 6日間の創作プロセスの公開において、エピソードの寄稿者やプロジェクトに興味を持った県民、山梨県立大学学生、能成寺にて主催されている寺子屋事業の参加小学生と保護者など、30超の見学者が訪れました。創作はクリエイターのみに留まらず、見学者も参加してのディスカッションなど、オープンなスタイルでの制作が行われました。
- 制作作品** 18件のエピソードのうち、9エピソードがテキスト化されました。そのうち6エピソードが上演楽曲化、1エピソードが上演台本化され、7エピソード+メインテーマの構成により、作品化されました。
- 発表公演** 発表公演は1月18日に能成寺にて開催されました。40分間の上演作品として発表され、会場には28名の来場がありました。上演にはワークショップ参加者様や能成寺副住職様の一部出演などの展開もありました。

上 演 セ ッ ト リ ス ト

作曲・演奏：伊藤駿 演出：中原和樹

00M_テーマ&オープニング オープニングテキスト：中原和樹
語り：山野靖博、水野貴以、杉浦奎介

01M_Dear マロン 原作者：歳月
歌：山野靖博 コーラス：水野貴以、杉浦奎介

02M_一瞬の間 原作者：歳月
歌：杉浦奎介

03T_後戻りできない嘘 原作者：エミ
語り：水野貴以

04M_田んぼ 原作者：さっちゃん
語り：山野靖博 歌：山野靖博、水野貴以、杉浦奎介 木魚：樋口雄文（能成寺） 太鼓：井上知香

05M_おにいさん犬といもうと猫 原作者：チーカマ
歌：杉浦奎介

06M_Dear マロン（リフレイン）
歌：山野靖博

07M_ふたつの岸 原作者：いりや ゆづる
歌：杉浦奎介、水野貴以、山野靖博

08M_赤ちょうちんの姉妹と認知症の父 原作者：田中いくら
歌：水野貴以

創 作 プ ロ セ ス

【DAY1】2026年1月13日（火）@山梨県立大学

- 顔合わせ
- エピソードの読み合わせおよびディスカッション
- テキスト化するエピソードの選定、分担、制作開始
- エピソードテキストから創作できる楽曲の制作開始



【DAY2】2026年1月14日（水）@山梨県立大学

【DAY3】2026年1月15日（木）@山梨県立大学

- エピソードのテキスト化およびディスカッション
- 楽曲制作およびディスカッション
- 全体構成のディスカッション
- 演出プランの制作開始



【DAY4】2026年1月16日（金）@能成寺

- 楽曲制作およびディスカッション
- 稽古・作品ディスカッション
- 粗通しおよび全体構成の仮決定



【DAY5】2026年1月17日（土）@能成寺

- テーマ楽曲制作、オープニングテキスト以外のテキスト・楽曲が出揃う
- 稽古・作品ディスカッション



【DAY6】2026年1月18日（土）@能成寺

- 会場設営
- オープニングテキスト制作・最終調整
- 上演
- アフタートーク
- 終了



成 果 物

印刷版の報告書には創作期間（2026.1.13-18）中に上演台本化・上演楽曲化されたものを成果物として掲載しております。

【掲載内容】

- ・制作テキスト（楽曲化前時点のもの）
- ・制作楽譜（1/18 上演時点のもの）

印刷版の報告書はアドブレーン・共立・NTT ファシリティーズ共同事業体（YCC 県民文化ホール指定管理者）にて取り扱っておりますので、閲覧希望者は YCC 県民文化ホールまでお問合せください。

テキスト

00M_ テーマ & オープニング オープニングテキスト：中原和樹

【The Gallery Opening】ver. 26_0118



あくまで出演者はこのギャラリーの学芸員であり、語り部であり、媒体であることが好ましい。
機械的になることを目指すのではなく、その身体と感性を使い、
文字と音楽で描かれているエピソードたちに、新鮮な血を通わせることを目指す。



出演者たちが舞台に登場する。
緞帳の有無や会場の状況などにより可変だが、
極力ニュートラルな状態が好ましい。
舞台上の【The Gallery】を感じさせるモノ（看板、文字、本棚など）に向かっていき、
そのモノと自身たちの存在を関係させる。



A「The Gallery」
B「（椅子に座り）これは、ギャラリーに収藏される記念すべき第一弾である。」
音楽が聞こえてくる。AとCも椅子に座る。
C「とき」
B「2026年1月」
C「ところ」
B「山梨県甲府市」
C「分類」
A「語り得ない」
音楽が進む。
A「このギャラリーに収藏されているのは」
B「それぞれの実話に基づいた」
C「様々な人生の断片である」

SAMPLE

Date: 26 / 1 / 17 Based on an episode by

concept musical "THE GALLERY"

/ Lyrics by

/ Comp. by Shun ITOH

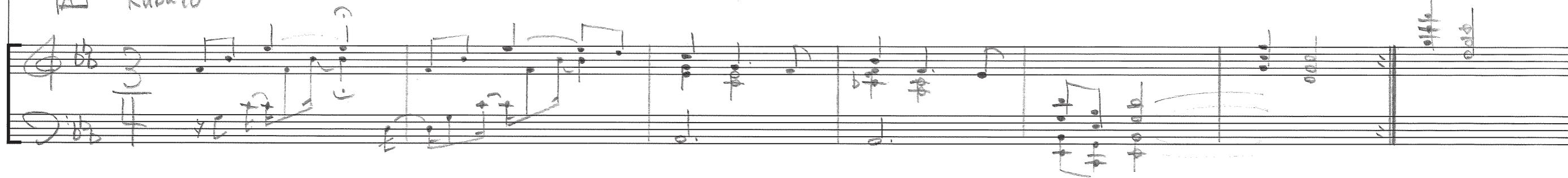
樂譜

Theme

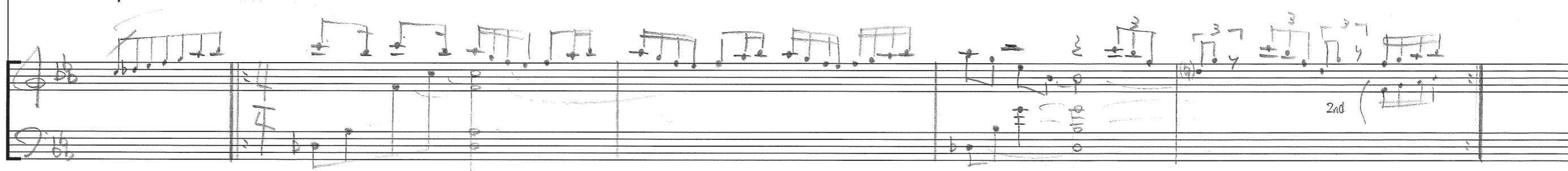
Theme

SAMPLE

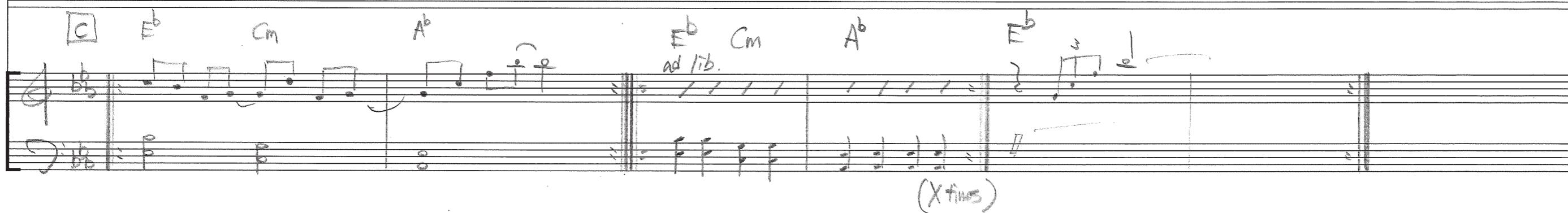
A Rubato



B Mordento



8 beat



エピソード収集型ミュージカル創作事業 concept musical THE GALLERY
開催報告書（WEB公開版）

作成日：2026年1月29日

作成者：アドブレーン・共立・NTT ファシリティーズ共同事業体（YCC 県民文化ホール指定管理者）

【本報告書ならびに事業についてのお問合せ】

YCC県民文化ホール

指定管理者：アドブレーン・共立・NTT-F 共同事業体

事業部 THE GALLERY 担当

〒400-0033 山梨県甲府市寿町 26-1

055-228-9131

jigyo@yamanashi-kbh.jp



YCC県民文化ホール
アドブレーン・共立・NTT-F共同事業体

作成日：2026年1月29日